

## 令和6年第6回美浜町議会定例会

(令和6年11月29日開議)

### 町長あいさつ（提案理由の説明）

令和6年第6回美浜町議会定例会の開会にあたり、議員各位には、お忙しい中お繰り合わせご出席いただき、厚く御礼を申し上げます。

師走を目前に一気に寒くなってまいりましたが、新潟地方气象台によりますと、今冬は冬型が強まる時期もあり、降雪量が多い傾向との予報であります。

また、季節性インフルエンザの流行期に入り、若年層を中心に流行の兆しも見えることから、除雪や感染予防対策など滞りなく措置できるよう努めてまいります。

それでは、町政運営に関する所信の一端を申し述べますとともに、今回ご提案いたします議案等の概要についてご説明申し上げます。

初めに、本年秋の叙勲におきまして、和田 <sup>わだ はじめ</sup>肇氏が長年にわたり国の財務行政に従事され、大きな功績を残されたことから瑞宝小綬章 <sup>ずいほうしょうじゅしょう</sup>を受章されました。栄えあるご受章、心からお祝い申し上げますとともに、敬意を表する次第であります。

また、11月3日文化の日に、町の発展に多大な貢献をされました原 <sup>はら ちづえ</sup>智津榮氏、並びに高木 <sup>たかぎ ゆたか</sup>豊氏の功績を称え町政功労表彰を、地域コミュニティや地域愛の醸成に多大な貢献をされました佐田伝統文化保存会様、並びにみはまこども <sup>さち</sup>倅太鼓様の功績を称え「美し美浜の地域愛表彰」を授与させていただきました。

改めて、受賞者各位の長年にわたる活動と弛まぬご努力に対し、深く敬意を表するとともに、心より感謝とお祝いを申し上げます。

次に、レイクセンターの運営について申し上げます。

レイクセンター、電池推進遊覧船の運営については、年内で三方五湖DMOとの指

定管理が終了することから、来年1月から新たな観光事業者へ委託すべく協議を進めてまいりましたが合意に至らず、打開策と持続的に安定した事業運営に繋がる経営強化戦略が必要と判断いたしました。

そのため、専門機関に委託し経営強化戦略を年度内に策定し、当該観光事業者と再協議することを、両者確認したところであります。

従って、1月から委託協議が調うまでの一定期間、町が、現在のDMOの従業員を雇用し、直営で本施設を運営するための協議や手続きを進めることとしています。

本施設は、三方五湖エリアの周遊滞在型観光の一角を成す施設であり、地域に広く観光経済効果が及ぶよう、経営強化戦略に基づく持続的で安定した経営の実現に向けて、鋭意取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

次に、ローイング競技関係について申し上げます。

先月開催予定の美浜町民レガッタは、強風の影響により安全を最優先に中止とさせていただきます。本大会を目指してこられた皆様には誠に申し訳なく、ご理解いただいたことに感謝申し上げます。

今後とも、参加者の声を踏まえ、多くの人々が集いローイング競技に親しめる大会を目指してまいりますので、宜しく願いいたします。

この秋、佐賀県で開催された国民スポーツ大会で、本町関係選手を主体とする福井県選抜チームが、前人未到の天皇杯9連覇、皇后杯7連覇を達成するとともに、カナダで開催されたU19世界選手権に本町から3名の選手を送り出すことができました。

こうした偉業は、半世紀にわたり町や学校、事業者はじめ関係者が一体となって築き上げてきた盤石な競技環境と伝統が実を結んだものと考えています。

これからも町民はじめ関係者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、「ローイングの町美浜」の振興に向け、競技環境の充実強化など鋭意取り組んでまいります。

次に、防災対策について申し上げます。

9月29日に、集中豪雨を想定した防災訓練を実施いたしました。当日は、耳地区の住民約100名の参加をいただき、集落と自主防災組織の連携による避難行動の確

認や、災害気象情報を的確に把握するための研修会を行いました。

また、10月25日、26日には、県の原子力総合防災訓練が実施され、大飯発電所のUPZ圏内となる西郷地区の住民約120名の参加をいただき、屋内退避訓練と大野市への広域避難訓練を行いました。

来るべき事態に備えた防災減災対策の充実強化はもとより、こうした訓練を重ねることで、地域防災力の強化や防災意識の醸成に取り組んでまいります。

次に、関西電力美浜発電所の運転状況について申し上げます。

10月15日、美浜3号機の一次冷却水クーラ排出管の一部に減肉と微小な穴が認められたことから、原子炉を停止する事態となりましたが、事業者から放射能漏れはなく環境への影響はないと報告を受けています。現在、原因の究明と対策工事を終え、原子力規制庁の確認を経て、運転を再開したところであります。

町としましては、引き続き安全最優先の運転と安全安心の最大限の確保について、徹底するよう事業者に求めてまいります。

次に、にぎわいの創出について申し上げます。

「にぎわいゾーン」において、多くの人々が集い繋がり、交流が広がる活気あるまちづくりのエンジン「美浜つながるフェスタ」が、昨年に続き10月26日から3週間にわたり開催されました。

このフェスタは、地域住民や若者世代を中心とする実行委員会の企画運営による、文化芸術や産業、遊びなどをテーマとする「アートフェスタ」や「はまなびフェスタ」など4つのイベントで構成されています。

とりわけ、今年は町制施行70周年を記念して「全国鯖サミット」を誘致、同時開催したもので、町内外から子どもや若者、家族連れなど昨年を上回る2万人の来場者があり、にぎわいの創出につながる大きな成果を得ることができました。

引き続き、出店者や来場者の声を踏まえながら、更なるにぎわいの創出につながるよう関係者と共に取り組みを進めてまいります。

また、11月3日から4日に、本会場において、みはまシナプスプロジェクトの一

環として、町内3小学校や公設塾「放課後教室サン」の児童たちによる、まちづくりの探求と成果を発表する「自分たちの学びを伝える挑戦」に取り組みました。

「学び」の場や機会の提供を通して、次代を担う子どもたちの育成はもとより、豊かな人生を送るための社会教育や地域がつながる「人づくり」を進めてまいります。

次に、観光列車「はなあかり」について申し上げます。

この秋、北陸新幹線敦賀開業を記念した「北陸デスティネーションキャンペーン」が全国展開されており、その一環として新型観光列車「はなあかり」が10月5日から12月22日までの週末に敦賀駅から城崎温泉駅まで往復運行されています。

注目度や話題性は極めて高いことから観光誘客の絶好の機会と捉え、子どもたちの歌によるお出迎えや特産品の試食などのおもてなし、美浜の魅力を伝える誘客戦略を強力に進めてまいります。

次に、インバウンド観光誘客について申し上げます。

10月下旬、県や関係団体と共にサイクリング大国、台湾においてサイクリングツアーの誘致に向けたトップセールスを行いました。

大手旅行社や台湾自転車協会の関係者、著名なインフルエンサーと面談、若狭湾沿岸の「わかさいくる」や三方五湖を巡る「ゴコイチ」など変化に富んだサイクリングコースを売り込んでまいりました。併せて、三方五湖「天空のテラス」や電池推進遊覧船などの観光資源、カニやフグ、うなぎなどの美味しい食の魅力についてもPRしてまいりました。先方は、それぞれの魅力を称賛され興味をもって、宿泊や体験コンテンツの充実について提案されるなど、これから誘客プロモーションを機動的に進めるうえで、大変有意義な機会になったと考えています。

また、世界最大の自転車メーカーの社長からは、極めて高い評価をいただき、「わかさいくる・ゴコイチ」がナショナルサイクルルートに指定された暁には、誘客プロモーションに協力したい旨の話もあり、具現化に向けて協議を進めてまいります。

来年4月から、大阪・関西万博が開催されることから、こうしたセールスの成果を活かし、ターゲットを見据えたインバウンド観光客の獲得に向け、県はじめ関係機関

と連携した取り組みを強力に進めてまいります。

次に、北前船寄港地フォーラムについて申し上げます。

去る11月21日から23日の3日間、全国的な交流イベントである北前船寄港地フォーラムが石川県と福井県を会場に開催されました。

フォーラムでは、講演や事例発表等が行われたほか、福井県内3コースを巡るエクスカーションが実施されました。そのうち美浜町コースには、県外36名が参加され、レインボーラインや電池推進遊覧船を巡るコースを満喫いただきました。続くレセプションでは、伝統神事の「王の舞」を披露、美浜の北前船の歴史を紹介したほか、日向の寒ブリやへしこ、地酒など堪能いただきました。参加者の評価は極めて高く、美浜の魅力など認知度の向上に繋がる絶好の機会になったと考えており、ご協力をいただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。

町としましては、こうしたプラットフォームへの参画を契機に、多くの企業や地域とのつながりを広げ、まちづくりを重層的に進めていきたいと考えています。

次に、「美浜町ブランド」の魅力向上について申し上げます

株式会社functionが運営する東京日本橋の「熟成魚場 福井県美浜町」が来年6月に開店10周年を迎えます。

同社とは、平成27年に「美浜町ブランド」の魅力向上を目的とした連携協力協定を締結しており、この店には、首都圏において美浜の食材はもとより町の魅力を発信する広告塔として大きな役割を担っていただきました。

今回、節目となる10周年の記念イベントの実施を契機として、「美浜町ブランド」の更なる魅力と認知度の向上を図っていきたいと考えています。

次に、本町との縁が叶えたボランティア活動について申し上げます。

9月28日に、関西地方の小学生40名による久々子海岸での清掃ボランティア活動が行われました。

この活動は、毎年、総合運動公園で開催される山口良治杯美浜町少年ラグビー大会に出場した選手たちの「美浜のために」との思いが込められており、大会開催に協力してきた美浜への愛着が形となったと受け止めています。改めて、尽力頂いた大会関係者並びに保護者の皆様に御礼を申し上げたいと思います。

まちづくりは、町民だけでなく美浜に魅力を感じる方々の応援が必要であります。町にゆかりのある方々との多様な関わりや取り組みを通して、少子高齢化・人口減少に直面する状況にあっても、潤いと活気のあるまちづくりを目指していきたいと考えています。

次に、第六次美浜町総合振興計画の策定について申し上げます。

美浜町総合振興計画は、本町のまちづくりの最上位計画であり、町の目指すべき方向性を明確にすることで、行政と町民が協働で機動的にまちづくりを進める指針となるものであります。

現行の第五次計画が令和7年度で終了することから、令和8年度を初年度とする次期計画を策定するため、先月15日に第1回審議会を開催いたしました。

策定にあたっては、町内の様々な分野の方々のご意見はもとより、町の将来を担う若者や、Uターンや移住された方々のご意見も計画に反映させたいと考えています。

そのため、町民アンケートや子ども・若者世代とのワークショップ等による多様な意見を取り込むことで、新たな10年に向けた計画づくりを進めてまいります。

さて、本日ご提案いたしました議案につきまして、その概要と提案理由をご説明申し上げます。

議案第76号 令和6年度美浜町一般会計補正予算（第5号）につきましては、歳入歳出それぞれ7億7,578万8千円を追加し、予算総額を105億6,808万円とするものであります。

歳出予算の主な内容を申し上げますと、総務費では、将来に向けたまちづくり施策の推進に向け「まちづくり基金」に5億円、防犯街路灯の整備に向け「明かりのまち

づくり事業基金」に8, 100万円、公共施設の計画的な維持補修に向け「公共施設維持補修基金」に6, 254万9千円を、それぞれ積立金として計上いたしました。

商工費では、レイクセンターの運営経費として2, 300万8千円を計上したほか、企業誘致の推進に向け「企業誘致助成事業基金」に5, 043万1千円を積立金として計上いたしました。

教育費では、美浜中学校開校50周年記念事業の経費として405万3千円を計上いたしました。

以上が一般会計補正予算の歳出予算の主なものでありますが、これに見合う主な財源といたしましては、町税3億3, 744万5千円、国・県支出金2億2, 979万7千円、前年度繰越金1億6, 295万9千円、地方特例交付金4, 138万2千円などを充当し、収支の均衡を図った次第であります。

次に、各特別会計の補正予算であります、

議案第77号 令和6年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）につきましては、令和5年度の保険給付費等交付金の精算返還金等により、歳入歳出それぞれ1, 254万4千円を追加し、予算総額を11億8, 476万5千円とするものであります。

議案第78号 令和6年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）につきましては、介護予防サービス給付費などの増額により、歳入歳出それぞれ200万2千円を追加し、予算総額を11億3, 530万3千円とするものであります。

議案第79号 令和6年度美浜町上水道事業会計補正予算（第2号）につきましては、上水道施設の更新及び耐震化に向け、「生活基盤強靱化事業基金」の積立金として歳入歳出それぞれ2億9, 704万3千円を追加し、予算総額を7億7, 764万9千円とするものであります。

議案第80号 令和6年度美浜町下水道事業会計補正予算（第2号）につきましては、国庫補助金の減により、9, 173万7千円を減額し、予算総額を

14億1,375万8千円とするものであります。

議案第81号 美浜町税条例の一部を改正する条例の制定につきましては、地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、個人町民税等にかかる規定を整備したく、本案を提出した次第であります。

議案第82号 美浜町手数料条例の一部を改正する条例の制定につきましては、コンビニ交付手数料の減免期間を延長したいため、関係規定を整備したく、本案を提出した次第であります。

議案第83号 情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定につきましては、同法律の公布に伴い、関係規定を整理する必要性が生じたことから、本案を提出した次第であります。

議案第84号 美浜町明かりのまちづくり事業基金条例の制定につきましては、明かりのまちづくり事業に必要な資金を積み立てたいので、これに係る基金条例を制定するものであります。

議案第85号 美浜町レイクセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、レイクセンターの施設使用の見直しに伴い、関係規定を整備したく、本案を提出した次第であります。

議案第86号 美浜町上水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、簡易水道事業の上水道事業への統合に伴い、関係規定を整備したく、本案を提出した次第であります。

議案第87号 美浜町生活基盤強靱化事業基金条例の制定につきましては、上水道施設の更新及び耐震化に必要な資金を積み立てたいので、これに係る基金条例を制定



するものであります。

以上、ご提案いたしました議案について、それぞれ概要をご説明申し上げましたが、不備な点等につきましては、その都度、私又は関係者からご説明申し上げますので、何卒慎重審議の上、妥当なご決議を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶と提案理由の説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。